The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	医学部保健学科「情報活用基礎」を担当して
Author(s)	柴田, 理志
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2011, 12, p. 46-46
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/70322
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

医学部保健学科「情報活用基礎」を担当して

柴田 理志（大阪大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻）

１）講義の概要

本講義は保健学科検査技術科学専攻の新入生を対象に行われている。内容としては、１）情報教育システムの概要（ログインやログアウトの方法など)、図書館の活用法、ホームページの立ち上げ、電子メールの使用法、インターネット検索法等の説明、ワープロソフトの使用(5 コマ)、２）Excel を用いた表計算(5 コマ)、３）ドローソフトを用いたプレゼンテーションの作成等(4 コマ)から成っている。この講義は、基本的なパソコンの使用方法について解説しており、道具としてのパソコンを、新入生がある程度使いこなせるようになることを目的として行っている。

２）講義を行ってみて

本講義は上記の様におおよそ 3 つからなっており、本年は検査技術科学専攻の教員 3 人がそれぞれ 5 回または 4 回ずつ担当した。私は Excel を用いた表計算を担当しました。多くの担当者が感じているように（？)、学生のパソコンの習熟度にはかなりの差があると感じました。そこで、習熟度の低い学生に合わせる様に気を付けながら講義を進行しました。また、パソコンを使い慣れた学生の中にも Excel の使用法はあまり知らない人がかなりいるような印象がありました。講義は教材提示用モニターを用いて行い、分かりにくそうな部分を何度か繰り返し掲示して進行しました。ある程度説明した後、理解出来たかを更に学生に確認します。理解出来なかった学生には TA の方々が丁寧に指導してくれて非常に助かりました。私自身かなり気を付けていたつもりでしたが、ショートカットキー等を説明もなく使用し、混乱した学生も多数いたかもしれません。

私の担当講義は詳しく示すと、家計簿とそのグラフの作成、簡単な関数、検量線の作成をおよび統計関数、日付関数、データベース機能の使用法からなり、最後にこれらの機能を用いて実際に課題に挑戦するというものでした。正直、私自身 Excel で家計簿を付けたことが無かったので「こんなことができるんだ」と感心しました。学生の反応も良く、家計簿に数値を打ち込むと収支などの数値が自動的に計算されるのを見て「オー」と言っている人もいました。簡単な関数では数人の検体を用いて悪玉コレステロールを計算し平均値や標準偏差を導き出しました。統計関数では検量線を作成し FORECAST を用いて濃度測定をするというものでした。相対参照や絶対参照も教材提示用モニターを用いると比較的簡単に説明できたように思います。データベース機能では「何時、どこのディーラーから何をいくついくらで買ったか」を打ち込み、そこからソーティングやオートフィルタを用いてほしい情報だけを抽出することを行いました。オートフィルタを使ってほしい情報だけをモニターに映した時にはやはり「オー」と声をあげている学生がいたように思います。最後の課題は厚生労働省のホームページの「人口動態統計月報(概数)の概況」から試料をダウンロードし死亡率の高い都道府県のトップ 10 の抽出や主要死因を抽出しそのグラフ化をすることでした。多くの学生が遅い早いはあるものの課題をこなしていました。他の講義については分からないのですが、Excel に関してはそれほど習熟していないためか学生に興味を持たせながら進めることが出来たように思います。また、教材提示用モニターを使うことで分かりにくいところも比較的スムーズに説明できたのではないかと思いました。

この講義は数年行っていますが年々学生のパソコンの習熟度が上がっているように思いますので、今後は新たにもう少し複雑な内容の講義も進めていかなければ退屈に思う学生が増えるのではないかと危惧しています。